

大東市歴史の散策道

～ 城跡探訪（健脚向き）～

四条畷駅⇄野崎駅（所要時間 2 ～ 3 時間）

飯盛山は標高 314 メートルの比較的低い山ですが、ほとんどがハイキング道の健脚向きのコースです。飯盛山には織豊時代直前、畿内と四国の一部を支配下に置いた三好長慶の居城が築かれたことで知られています。天気の良い日は大阪平野や神戸から京都まで見渡せる 270 度の眺望が楽しめます。コース途中の青少年野外活動センターで行われるイベント開催時に立ち寄れば、楽しさが倍増するかもしれません。

また、帰りは野崎観音や歴史民俗資料館で見学のついでに一休み、商店街でお土産を物色するのも楽しいですよ。

（始）四条畷駅 ⇒ ニノ丸御体塚郭 ⇒ 本丸高櫓郭 ⇒ 飯盛城址 ⇒ 楠木正行像
⇒ 野崎城址 ⇒ 石造九重層塔 ⇒ （野崎観音） ⇒ （終）野崎駅

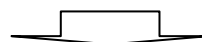


四条畷駅



小楠公（楠木正行）墓所

楠木正行は楠木正成の子で、1348 年の四條畷の戦いで高師直と闘って討ち死にしました。ここには正行が一族とともに合葬されています。正行の死後約 80 年経って小碑と楠の木 2 本が植えられ、供養塚が作られました。現在の石碑は 明治 11 年に建てられたもので、大久保利通自筆の銘が刻まれています。





飯盛城址

およそ南北 650m、東西 400mの規模を持つ山城で、北から尾根伝いに御体塚、展望台、本丸高櫓、千畳敷と幾つもの代表的な郭が連なります。城として大規模に整うのは戦国時代で、永禄 3 年(1560)には三好長慶の居城となりました。長慶没後、畠山昭高が入城するも、天正 4 年(1576)に信長に攻められ落城し、ついに廃城となりました。



二ノ丸 御体塚郭

飯盛山を四條畷神社から登ると、頂上北側の尾根にある 30m×27m、15mの台形の削平地が二ノ丸御体塚郭で、東面には石垣があり、南北両端は深い堀切で守られています。三好長慶の死後、その死を 2 年間にわたり公表しませんでした、仮埋葬地がこの場所であったと言われています。



四條畷神社

飯盛山の西にあり、楠正行を主祭神として一族の将士を配祀しています。明治 22 年、楠正行墓所に創建を予定して着工しましたが、のちに現在地に移され、翌年 4 月 5 日に鎮座祭が行われました。



本丸 展望台郭

二ノ丸御体塚郭を尾根伝いに南へたどると 20m×17mの平坦地に展望台があります。その場所が展望台郭です。



本丸 高櫓郭

さらに南に5m程上がると、国旗掲揚台、正行像が 25m×15mの平坦地にあり、ここが本丸高櫓郭です。飯盛城はこのようないくつもの曲輪が連なる山城です。近くには、往時の石垣跡もみることができます。



国旗掲揚台



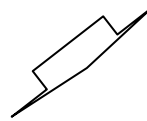
楠木正行像

本丸高櫓郭には楠木正行像があります。昭和12年に製作されましたが戦時中に一旦供出され、昭和47年に再建されました。この像は四條畷合戦前に吉野の如意輪堂の壁に辞世の句を書き終えた姿だと言われています。



石垣（写真は高櫓郭東側）

安土城以前の中世山城は、天守、石垣がつくられないという定説の中で、飯盛城には多くの石垣が残されており、石垣が飯盛城の特徴のひとつとなっています。



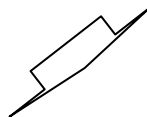
千畳敷郭

本丸高櫓郭から南へ下ると、FMの送信所を超えた辺りに、平坦地が少ない飯盛山にあっては比較的広い平坦地があります。ここは千畳敷郭とよばれ、建物が建っていたのではないかと考えられています。虎口から南へ尾根伝いに下ると桜池、尻池、南池に出て青少年野外活動センターに至ります。



虎口（こぐち）

千畳敷から少し南に行くと右手に土塁の跡、そして城の出入口に当たる虎口に至ります。両側に石が残っているのは城門があったのでしょうか。



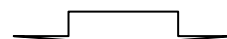
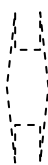
青少年野外活動センター

野外活動を通じて、自然に親しむための施設で、キャンプサイト・野外調理場・アスレチック広場・アーチハウスなどがあります。施設の利用は有料ですが、トイレは無料で利用できます。

また、キャンプなどの行事を通じて青少年の健全育成を図る事業も行っています。



権現の滝





石造九重層塔(市指定文化財)

野崎城址から野崎観音方面に道を下ると、途中見えてくるのが、石造九重層塔です。花崗岩製で、高さ 3m30cm。基礎部分に 74 字の文字を刻み、その中に「永仁二年」(1294)とあることから、北河内では最古の層塔です。野崎観音の裏山に当たり、野崎観音からは鐘つき堂から山道を登っていくとすぐに見えてきます。



野崎城跡

青少年野外活動センターからハイキング道を野崎駅方面に下り、谷田川の「せせらぎ」から野崎観音方面に向け小山を登ると、その頂上に野崎城跡があります。野崎は西からは深野池、東からは飯盛山がせり出して、平地部分が狭かったことから、古くから戦略上の要衝とされてきました。展望台のところが本丸であったと考えられています。



野崎観音

正式には福聚山慈眼寺といい、平安中期に江口の君が建てたと伝えられています。戦国時代にすべて焼失しましたが、近世初頭の元和年間(1615～23)に曹洞宗の僧青嶺によって復興され今に至ります。また落語などで有名な野崎参りは、秘仏の十一面観音像の開帳から始まりました。



南條神社



専應寺



歴史民俗資料館



野崎まいり公園



野崎駅

野崎参道商店街

おみやげ、買物



観音浜の碑